

備蓄スペース

対応に必要な物資・資材を備蓄・整備し、状況に応じて新たに確保、それらの管理・保管・分配を実施する。アクセシビリティを高め、2カ所のシャッター（手動）を設けている。



災害関連備蓄倉庫

災害対応拠点備蓄倉庫

大学本部



災害対応拠点整備

- ・事務局に隣接して災害対応拠点備蓄倉庫を設置
- ・細やかなメンテナンスを必要とする大型の機器を集中管理（発電機、電動工具、大型テント等）
- ・緊急時には、災害対策本部代替えスペースや非常時参集要員のワークスペースとして活用できる危機管理機能を備える

各キャンパス配備方針

- ・各地区キャンパスに必要な備蓄品を配置（11カ所）
- ・備蓄品、必要数の保管・管理（適正配置）



新潟大学 危機管理本部 危機管理センター

平成26(2014)年4月開所



建築面積 215m²
延床面積 417m²
建築構造 S-2 (I類)

本学では、各キャンパスに災害関連の備蓄倉庫を配備し、「危機/災害事案の対応に必要な物資および資材を備蓄・整備し、点検・管理」を実施します。

特に大学本部のある五十嵐キャンパスにおいては、

- ① 危機/災害事案への対応を総括し、対応戦略を構築する
- ② 部局横断で本部員が一定期間執務可能な体制を整備する
- ③ リエゾン (関係機関) と協働して対応や打合せを実施するを目的とし、備蓄機能と併せて災害対応拠点としてのスペースを設けることで、危機管理センターを整備しました。

連絡先：025 - 262 - 8260 (災害時)
025 - 262 - 6022 (事務局)

危機管理本部室

部局横断で危機/災害事案対応を推進する。情報共有、方針決定のための本部会議を実施する。



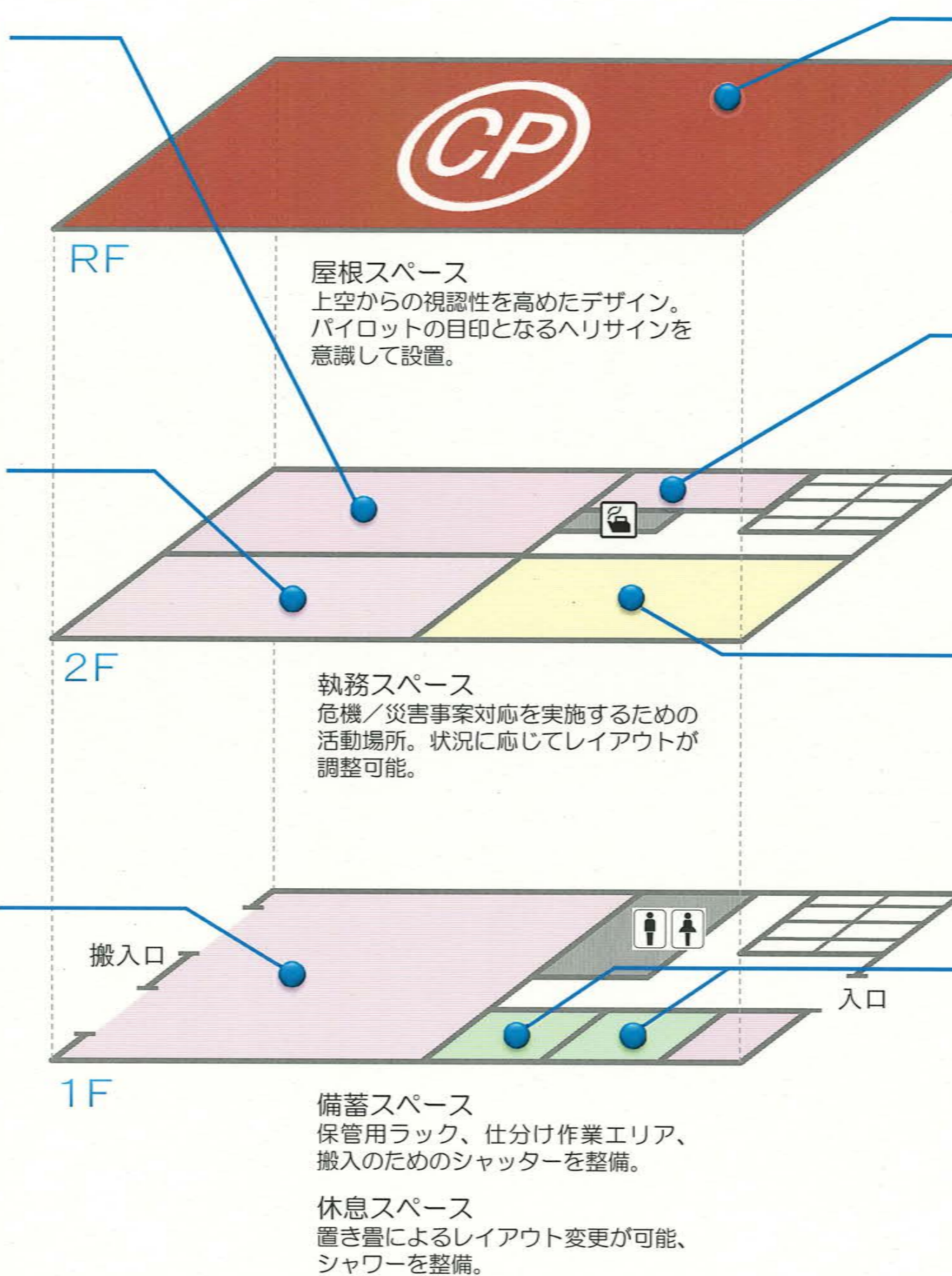
打ち合わせスペース

部局員やリエゾン（関係機関からの情報連絡員）が、協働して対応や打ち合わせを実施する。



備蓄庫 1・2

危機/災害事案の対応に必要な物資および資材を備蓄・整備し、点検・管理をおこなう。



CPマーク (Command Post)

「指揮所」の意。各キャンパスが連携して対応するための指令塔の機能を有する。



危機管理本部長室

危機/災害事案への対応を総括し、状況に応じて、対応戦略を構築する。



危機管理室 1・2

危機/災害対策にかかる計画・訓練を企画・立案し、推進する。



仮眠室 1・2

本部員が対応体制を維持し、待機したまま、休息をとる。



シャワールーム